



題 字
初代会長 松野 盛 吉
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 高橋 正 尚
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

二〇二三年度全国統一防火標語
**火を消して
不安を消して
つなぐ未来**

令和五年度 全県消防団長研修会

令和五年度全県消防団長研修会が
一月二日(木)、ホテルサンルー
ル大潟で、消防団長など消防関係者
約六〇名が参加し開催されました。
千葉県館山市消防団団長 吉野隆
志氏が、過去六九年間で関東地方に
上陸した台風で最強クラスと言われ



た令和元年房総半島台風時の同消防
団の活動を中心に講演されました。
続いて、「秋田県消防操法大会の運
営」と「消防団員の操法離れ」につい
て、各消防団へのアンケート結果に
基づき、秋田県総合防災課 三浦正彦
専門員の司会と吉野氏のアドバイス
で意見交換を行いました。

講 演

『館山市消防団の活動について』

講師：館山市消防団

団長 吉野隆志氏

■講演の主な内容

一 館山市消防団について

- ①活動内容(男性団員・女性団員)
- ②ヘルメットは階級で色分け、個人持ち
- ③車両と詰所の仕様は各部の意向を尊重

二 令和元年房総半島台風について

- ①被害状況と活動状況
- ②詰所被害、団員車両被害

三 課題点・改善点

意 見 交 換

一 秋田県消防操法大会の運営について

- ①開催時期の八月後半は今後も猛暑になる可能性はあるが、支部大会や全国大会の日程を考慮すると日程変更は困難で、暑さ対策を講じて現行のとおり行った方がよいという意見が多数。
- ②本大会が中止になり予備日に開催する場合に団員は対応できるかという問いに対して、日程は年度当初に共有されているので対応可能とする消防団がある一方で、団員の負担が大きく困難とする消防団が一定数ある。
- ③全国大会出場隊を前年度の県大会優勝隊とすることについて



吉野隆志氏

二 消防団員の操法離れについて

は、選手の士気維持等から否定的意見が多数。
①各消防団は、操法訓練が消防知識の習得や消火技術の向上、分団の士気向上に資する重要な訓練と考えている。他方、若い世代の意識が多様化していることも認識しており、分団の自主性を尊重したり、実践的な訓練や講習を実施するなど、柔軟な対応を心掛けているところが見られる。



三浦氏・吉野氏



意見交換の様子

若手・女性消防団員による ワークショップ開催

県が今年度実施している「消防団加入促進モデル事業」として、県北・県南地区に続き、一月二十二日(水)、秋田市でワークショップが開催されました。

当日は、「活動しやすい消防団を考える『わたしたちは、こう考える』変えていいところ。変えてはいけなところ。」というテーマで、二名の若手や女性消防団員が、グループディスカッションを行いました。三地区で出された意見は、二月十七日(土)に秋田市で開催される「今後の消防団のあり方、役割を考えるシンポジウム」で発表されます。



令和五年度

消防団員指導員研修

秋田県消防学校

令和五年度消防団員指導員研修は、一二月九日(土)、一〇日(日)の二日間、秋田県消防学校で開催され、二〇消防団から三三名が参加しました。研修では、現場指揮・安全管理、住民指導、災害情報伝達などの座学のほか、救助・救命活動、火災防ぎよ・水災活動などの実技が行われました。

令和5年度 消防団員指導員研修受講者名簿

消防団名	階級	氏名
鹿角市消防団	部長	藤田 貴之
小坂町消防団	部長	杉原 幸仁
大館市消防団	部長	中村 孝憲
北秋田市消防団	副分団長	片岡 恵太
上小阿仁村消防団	班長	村田 正人
能代市消防団	部長	越前谷 忠司
三種町消防団	分団長	近藤 竜太郎
八峰町消防団	分団長	金谷 富蔵
潟上市消防団	副分団長	水澤 一憲
五城目町消防団	分団長	澤田石 幸男
井川町消防団	副分団長	三浦 寛志
秋田市消防団	班長	鈴木 克幸
由利本荘市消防団	部長	佐藤 浩之
由利本荘市消防団	部長	岡本 善広
由利本荘市消防団	班長	田代 俊司
由利本荘市消防団	班長	土田 信一
由利本荘市消防団	部長	眞田 和幸
由利本荘市消防団	班長	齋藤 佑
にかほ市消防団	分団長	相良 裕
大仙市消防団	副分団長	鈴木 政也
仙北市消防団	部長	黒澤 広志
美郷町消防団	副分団長	鈴屋 和基
横手市消防団	分団長	小原 孝治
横手市消防団	副分団長	佐藤 義行
横手市消防団	副分団長	奥山 雄公
横手市消防団	副分団長	今 正明
横手市消防団	副分団長	高橋 伸
横手市消防団	副分団長	菊地 昭彦
横手市消防団	部長	高橋 忠弘
横手市消防団	部長	森田 博範
湯沢市消防団	副分団長	奥山 浩吉
湯沢市消防団	副分団長	村上 透
羽後町消防団	分団長	土田 良悦



令和五年秋の叙勲・褒章
第四一回危険業務従事者叙勲

令和五年秋の叙勲

◆瑞宝小綬章(二名)

元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部
消防正監 菅原達美

◆瑞宝双光章(一名)

元由利本荘市消防団
団 長 周防彦宗

◆瑞宝単光章(二三名)

元秋田市消防団
分 団 長 池田秀勝

元三種町消防団
分 団 長 伊東正夫

元由利本荘市消防団
分 団 長 工藤喜美夫

元井川町消防団
分 団 長 小林浩次

元横手市大雄消防団
副 団 長 小松高義

元能代市消防団
分 団 長 斉藤正美

元上小阿仁村消防団
副 分 団 長 齊藤貢

元西木村消防団
副 分 団 長 佐々木茂義

元秋田市消防団

分 団 長 須磨良郎

元皆瀬村消防団

分 団 長 高橋多一

元由利本荘市消防団

分 団 長 高橋正知世

元仙北市消防団

分 団 長 田口志良

元羽後町消防団

団 長 武田継夫

元羽後町消防団

分 団 長 畑山靖之

元田沢湖町消防団

分 団 長 羽根川專治

元湯沢市消防団

分 団 長 藤岡俊一

元井川町消防団

分 団 長 升屋重藏

元横手市消防団

副 団 長 松井大作

元美郷町消防団

分 団 長 最上宗一

元小坂町消防団

分 団 長 和田隆悦

元大館市消防団

分 団 長 渡邊照雄

元大仙市消防団

副 団 長 渡邊敏雄

元大仙市消防団

副 団 長 渡邊亨

令和五年秋の褒章

◆藍綬褒賞(一名)

八郎瀧町消防団
分 団 長 松田一成

第四一回危険業務従事者叙勲

◆瑞宝双光章(七名)

元能代山本広域市町村圏組合消防本部
消 防 監 石井清樹

元湖東地区行政一部事務組合消防本部
消 防 司 令 長 伊藤繁

元五城目町消防本部
消 防 司 令 長 佐々木重義

元北秋田市消防本部
消 防 司 令 長 長岐順一

元秋田市消防本部
消 防 監 保坂重彦

元秋田市消防本部
消 防 監 前田康博

元湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部
消 防 司 令 長 松田武美

◆瑞宝単光章(二名)

元湖東地区行政一部事務組合消防本部
消 防 司 令 遠藤兼一郎

元男鹿地区消防一部事務組合消防本部
消 防 司 令 中田清富



令和五年秋の叙勲・褒章及び第四一回危険業務従事者叙勲の受章者が一月三日に発令されました。本県の消防関係では、叙勲二五名、褒章一名、危険業務従事者叙勲で九名が受章されました。一月六日に秋田県正庁において、知事伝達式が行われました。受章者の皆様、誠におめでとうございませう。(記載は五十音順)

第二五回全国女性消防操法大会

大仙市女性消防隊が出場

第二五回全国女性消防操法大会は
一〇月二一日(土)、東京臨海広域防
災公園(東京都葛飾区有明)におい
て、四四都道府県の代表四四隊が出
場し、軽可搬ポンプ操法による競技
が行われました。



開 会 式

本県代表の大仙市女性消防隊は、
第二三回大会(平成二九年)以来の出
場となりました。
地元消防団をはじめ、佐藤芳彦大
仙市副市長など関係者が応援するな
か大健闘しました。



佐藤広樹消防長による激励



操 法 ③



操 法 ②



操 法 ①

大会名	開催年度	出場隊	成績
第18回	平成19年	大館市	準優勝(2位)
第19回	平成21年	秋田市	17位
第20回	平成23年	横手市平鹿	操法中止
第21回	平成25年	大仙市	26位
第22回	平成27年	大仙市	18位
第23回	平成29年	大仙市	28位
第24回	令和元年	秋田市	27位
第25回	令和5年	大仙市	29位

過去の成績

第25回全国女性消防操法大会成績表				
順位	都道府県名	消防隊名	タイム(秒)	総合得点
優 勝	熊 本 県	八代市本部女性消防隊	44.12	93.5
準優勝	東 京 都	板橋消防団女性消防隊	45.66	88.0
準優勝	愛 知 県	刈谷市女性消防隊	48.15	88.0
優 秀	山 口 県	和木町女性消防隊	48.93	87.0
優 秀	香 川 県	高松市女性消防隊	49.58	86.0
優 秀	岡 山 県	和気町女性消防隊	48.22	84.5

上位の成績

令和五年度 防火ポスターコンクール

令和五年度防火ポスターコンクール(生活協同組合全日本消防人共済会主催)の審査が先頃行われました。

同コンクールは、各都道府県から二点以内を選定して応募するもので、県内から、大仙市立内小友小学校三年後藤麗奈さん、能代市立能代第一中学校二年稲富心笑さん、大仙市立太田中学校一年渡邊禾さんから応募がありました。

応募してくださいました皆さん、来年も素敵な作品を送ってください。お待ちしております。

【コンクールの概要】

■目的

全国統一防火標語にあわせて、子供達が火災予防についての意見や考えを自由な発想でイメージし絵画として表現することで、防火に関する意識を高める。

■応募資格

四年生以上の小学生及び中学生

■表彰等

- ① 最優秀賞 一名
 - ② 優秀賞 二名
 - ③ 佳作 若干名
- 入選者には賞状及び記念品を贈呈



後藤麗奈さんの作品



渡邊禾さんの作品



稲富心笑さんの作品

第二八回 全国女性消防団員活性化石川大会

来年は栃木県で開催



第二八回全国女性消防団員活性化石川大会が、十一月一六日(木)、ようこそ石川へ、百万石の花と咲け！輝く女性消防団」を大会テーマとして、「いしかわ総合スポーツセンター」(金沢市)で開催され、全国約四七〇の消防団及び関係機関から、約三、〇〇〇名が参加しました。

本県からは、三五名(女性団員二七名)が参加しました。

大会では、五消防団による活動事例発表の後、お笑いタレント山田邦子さんと馳浩石川県知事が「女性団員を含めた女性活躍社会」と題して対談を行いました。

続く事例発表では、本県の大仙市消防団が、使用しなくなった半纏や消防ホースを利用してカバンや小物入れを作る「リユースグッズ大作戦」を紹介し大きな反響を呼びました。

パネルディスカッションでは、同消防団の一色順子さん他四名が、秋本敏文 日本消防協会長の司会で「女性団員の現状とこれから」について議論しました。

閉会式では、大会宣言後、次期開催地の栃木県に大会旗が引き継がれました。



第二三回 女性消防団員教育

秋田県消防学校

第一三回女性消防団員教育は、一月一四日(土)、一五日(日)の二日間、秋田県消防学校で開催され、五消防団から七名が参加しました。

研修では、消防活動訓練(地震体験、消火器取扱、放水訓練)、救急訓練(心肺蘇生法、訓練礼式)等が行われました。

■受講生名簿

大館市	団員	佐々木	由紀子
大館市	団員	小林	礼佳
井川町	団員	武石	千春
秋田市	団員	鎌田	美希
由利本荘市	団員	小川	幾代
由利本荘市	団員	坂牧	莉歩
湯沢市	団員	菊地	佐起子



令和 6 年出初式の開催予定

令和 5 年11月22日現在

市町村	期 日	観閲式会場	式典会場
鹿 角 市	1月14日(日)	コモッセ正面玄関前	文化の社交流館コモッセ
小 坂 町	1月 4日(木)	明治百年通り	小坂町交流センター セパーム
大 館 市	1月 7日(日)	大町ハチ公通り	ほくしか鹿鳴ホール
北 秋 田 市	1月 7日(日)	松葉町交差点DELTA前	北秋田市文化会館
上小阿仁村	1月 4日(木)	健康増進トレーニング センター前	生涯学習センター
能 代 市	1月 5日(金)	能代市島町通り 二ツ井町駅通り	能代市文化会館
藤 里 町	1月 7日(日)	藤里町役場庁舎前	藤里町総合開発センター
三 種 町	1月 4日(木)	三種町琴丘総合体育館 駐車場	三種町琴丘総合体育館
八 峰 町	1月 7日(日)	旧沢目駅前通り	峰栄館
秋 田 市	1月 5日(金)	けやき通り	あきた芸術劇場 ミルハス
男 鹿 市	1月 5日(金)	男鹿市役所～オガール	男鹿市民文化会館
潟 上 市	1月 4日(木)	実施なし	潟上市天王総合体育館
五 城 目 町	1月 5日(金)	朝市駐車場～五城館	五城館
八 郎 潟 町	1月 4日(木)	ローソン八郎潟大道店前 ～八郎潟町役場	八郎潟町農村環境改善センター
井 川 町	1月 4日(木)	井川町農村環境改善センター前	井川町農村環境改善センター
大 潟 村	1月 6日(土)	実施なし	ホテルサンルーラル大潟
由利本荘市	1月 8日(月)	由利本荘市役所前	由利本荘市文化交流館 カターレ
に か ほ 市	1月 5日(金)	実施なし	金浦体育館
大 仙 市	1月 5日(金)	大曲市民会館 第2駐車場	大曲市民会館
仙 北 市	1月 6日(土)	市民会館	市民会館
美 郷 町	1月 4日(木)	総合体育館リリオス前 駐車場	美郷町公民館
横 手 市	1月 5日(金)	実施なし	横手市横手体育館
湯 沢 市	1月 5日(金)	実施なし	雄勝文化会館
羽 後 町	1月 5日(金)	羽後町総合体育館	羽後町総合体育館
東 成 瀬 村	1月 4日(木)	東成瀬村民体育館	東成瀬村民体育館



トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋 田 県 代 理 店

総合防災設備センター

株式会社 高 義 商 会

(営業種目) { トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種

〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕 力 ギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880
FAX (0182)(32)0839

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | 消防設備保守点検
トーハツポンプ | キンパイホース
各種消防機械器具 | 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

支部情報アラカルト

秋田市消防団 幹部教育を実施しました

十一月二日(土)及び二五日(土)、土崎消防署において、令和五年度消防団初級及び上級幹部教育を行いました。当支部では、各分団の班長を対象とした初級幹部教育、部長以上を対象とした上級幹部教育を毎年行っています。

今回の座学では、消防団の現状や七月豪雨災害での活動、今後の課題について学びました。実技では、図



上訓練、規律訓練、小型ポンプ取扱訓練、資機材取扱訓練、消火栓の能力について、土崎消防署員協力のもと行いました。今回の研修で得た知識を各所属分団員に伝授し、今後の活動に役立てて欲しいと思います。

全国的に消防団員数が減少するなか、自然災害の激甚化など災害の多様化により、常備消防のみならず消防団の活動にも市民から期待が大きくなっていくように感じます。この期待に応えるためにも、秋田市支部として常備消防と非常備消防の更なる連携強化を目指し、今後も消防団幹部教育に取り組んでまいります。



火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	令和5年		令和4年			同期比較	
	11月	累計	11月	累計	年計	11月	累計
建 物	14	166	19	151	165	- 5	15
林 野	0	25	0	27	27	0	- 2
車 輛	0	24	3	31	33	- 3	- 7
その他	0	78	2	88	89	- 2	-10
合 計	14	293	24	297	314	-10	- 4
死者数	2	18	3	23	26	- 1	- 5
負傷者数	5	56	1	35	36	4	21

〔情報提供〓秋田市支部〕



モリタ消防ポンプ シバウラポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 能代消防センター
株式会社 協 立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52) 6494
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防 ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース
設 備 火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社
防災事業部

〒010-0962 秋田市八橋大畑一丁目1番32号
TEL 018(863)1551 FAX 018(853)6311